‘09.秋の沢集中　谷川岳

魚野川万太郎本谷 2009.10.11～12

L齋藤・菊地・志満（記録）

☆　コース

１０／１１（日）

土樽駅 7：05 ～堰堤 7：55（入渓 8：20～）～川棚沢 9：35～オキドウ沢 9：45～井戸小屋沢 10：10～一の滝 11：40（落ち口 14：10）～テン場 15：00

１０／１２（月）

テン場 7：35～7：45 三の滝（落ち口 9：10）～奥の二俣 11：30～稜線 1：50～肩の小屋 12：55（13：55 発）～一の倉岳 15：10～茂倉岳 15：25～天場の頭 16：45～土樽駅 18：45

朝起きると小雨が降っていた。「今日は晴れの予報だったのじゃないの？」この時期に雨の中遡行するとは・・・凹。カッパを着込んで土樽駅から歩き始める。2 つ目の新しい堰堤から入渓。先週は万太郎支流大ベタテ沢を遡行したその時と比べるとやはり水量は多い。この雨にこの寒さ出来れば水に浸かりたくないものだが・・・。最初はゴーロ歩きでしばらくするときれいな岩畳のようなナメが現れる。200m くらいあるだろうか。万太郎本谷は下流部にいい所が集約されている。侵食されたナメ、ナメ滝、釜、明るく美しいトロ、奇岩のナメ床・・・日差しが出ていたらもっと綺麗だっただろう残念だ。夕飯のお米を忘れた菊地さんが米の代品？として山菜やキノコを探しながら彷徨っている。大ベタテ沢のしょぼい出合のその先にある４m滝、ヌメっている右岸を齋藤さんが難なく渡る。続いた菊地さんその 1 歩が行けず難儀している。滑ったら危険はないけれど首までドボン！それは勘弁です。私は早々にトラロープのかかっている左岸から巻く。技術はもちろんだけどウールフエルトの実力が発揮された。私もウール体験したく張り替えたけれど、もったいなくて履かずに２年は経過している。貧乏性にはウールは適さないって事だ。関越トンネルの換気口を通り過ぎると沢はゴルジュ帯へと変わっていく。オキドウキョのトロ手前の淵は、右岸をへつって進むがその先が行けず飛び込んで一泳ぎするしかない。この時期にこの雨降りの中、寒そう～「行くよ！行くよ！飛び込むよ！」と声を張り上げ自分自身に気合入れるがなかなかダイブ出ない・・・。どぼん！「ひぇ～」心臓発作直前である。

＜ダイブ直前＞

＜ダイブ直後＞

しばらくして井戸小屋沢が入ってきた。この沢は何年も前から狙っているけれど未だ行けていない。来年こそいくぞ！ご一緒してくれる方はこの指と～まれ！

ゴルジュ帯を過ぎると綺麗なナメや淵の連続で快適に越えていく。沢が右にまがった先には 20m の一の滝、てっきり巻くものだと思っていたら齋藤氏が「僕、行きます！」と闘志を燃やしている。「お！気合入っているね」登り初めてハーケンを打ちランニングビレーをとった先で滑落。ハーケンが抜け滝壷にドボ～ン！怪我はしなかったものの全身びしょ濡れ。気落ちして登攀をやめて、巻くのかと思いきや「もう一度行ってきます！」「マジ！？」気合凄過ぎる。

＜一ノ滝　齋藤氏右中央に張り付いています＞

滝壷に浸かった齋藤さんを出頭にみんな身体が冷え切り指先はかじかんで力が入らない。中間部分で一手が乗越せず、ここでかなり時間を使ってしまったのもあって結局３人が抜けるのに 2 時間半を要した。沢はゴーロになりしばらく歩くと二ノ滝でここは左岸を階段状に登る。ここからはテン場を探しながらいく。イシクラ沢を越えた所にテント適地を見つけ、焚き火場は草を刈り、薪は少ないながらも一晩過ごせるくらいの量を拾い集め快適な夜を過ごす準備が整った。冷え切った身体を暖めながら乾杯！今夜は具たくさんの豚汁に炊き込み御飯。齋藤さんも米を忘れてしまい１合をみんなで仲良く分け合った（１合の水加減がわからずおじやご飯となってしまったすみません）その他に菊地さんが揚げてくれた山菜の天ぷらを美味しく頂いた♪

今日は一日雨に降られたけれど、今は満天の星が広がっている。明日は快晴かな・・・？

翌朝５時半起床し７時半に出発。１５分くらい歩くと２段 30m の三ノ滝。下段は右壁から登るここも齋藤さんがリード。ホールドはしっかりしているので難しくはないけれど水しぶきを浴び、冷たい岩をつかんでいるうちに指が悴み神経が麻痺してきている。そして追いうちを掛けるかのように滝の落ち口直下で頭から左半身シャワークライミング（あまりの寒さ、指先の冷たさに半べそ状態）2 段目は右手の支流へバンド沿いに登っていくのがルートのようだけど水流が多く困難。支流右手のスラブを細かいスタンスを拾いながらトラバースし、左の潅木帯入って落ち口に出る。ここでやっと日差しにあたる事が出来てしばし日光浴。その先はゴーロや小滝が続く。途中岩を踏み外して足を軽く痛めた。テーピングをして少し楽になったけれどペースがあがらない。集合場所まで余裕のハズだったのにちょっとヤバクナッテキタ。二俣はすべて右にとり涸れ滝をいくつも登りながら最後はハイ松の中の踏み跡をたどって稜線へ。あとは登山道をひと歩きし、集合時間 5 分前に肩の小屋到着！小屋前には仲間の笑顔が待っていた。１時間近く雑談をしてアフロの外人さん？を主役に集合写真を撮って解散。みんなはロープウェイ方面へ下山していったが私達の下山は一の倉岳～茂倉岳経由で土樽駅まで。結局５時間近くかかり最後はヘッデンでの下山となった。お疲れ様でした。

☆　念入りに計画を立てた前聖岳集中が残念ながら台風の影響で中止となり、急遽谷川集中となった。寒さで辛い思いをした人が多いとは思いますが即席の計画にしてはみなさん楽しめたのではないでしょうか。色々とご協力ありがとうございました。　　しま